

Information

日本精神科看護技術協会研修会

【基本】1.「精神科初心者研修会」[東京研修会場]（港区港南）5月21日（月）～23日（水）[京都研修センター]（京都市中京区）5月17日（木）～19（土）／2.「中堅のための基本研修会（前編）」[東京] 6月20日（水）～22日（金）[京都] 6月5日（火）～7日（木）【受講料】1・2とも会員18000円、非会員27000円／「基本ケアシリーズ コミュニケーション」[東京] 5月19日（土）～20日（日）[京都] 6月8日（金）～9日（土）【受講料】会員12000円、非会員18000円【共通】定員80名【申し込み】下記ホームページの研修会ページの申込用紙をプリントしてそれぞれの会場にFAXまたは往復はがきで【問い合わせ】[東京] 〒108-0075 港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F 日本精神科看護技術協会 東京研修会場【TEL】03-5796-7033【FAX】03-5796-7034[京都] 〒604-8166 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町85-1 烏丸ビル8階 日本精神科看護技術協会 京都研修センター【TEL】075-229-6770【FAX】075-229-6771【URL】<http://www.jpna.jp/education/index.html>

第37回日本精神科看護学術集会

【テーマ】精神科看護と社会貢献【日時】6月1日（金）～3日（日）【会場】神戸国際会議場【基調講演】「精神科看護と社会貢献」仲野栄（日本精神科看護技術協会）【シンポジウム】「精神科看護実践と社会貢献のつながり」吉川隆博（山陽学園大学）・瀬野佳代（三恵病

院）・宮本めぐみ（地域生活支援センターMOTA）・小川貞子（浅香山病院）・大西暢夫（写真家）他【参加費】会員12000円（学術誌付き）、非会員18000円（学術誌付き）、学生無料（学術誌なし）【申し込み】5月8日（火）まで。大会ホームページより登録、あるいは申込用紙をダウンロードし下記までFAXまたは郵送【問い合わせ】〒651-0087 神戸市中央区御幸通6-1-20 三宮山田東急ビル3F トップツアー神戸支店 担当：水谷・山田【TEL】078-221-1090（平日9:00～18:00、土・日・祝日休）【FAX】078-221-1567【E-mail】masahiko_mizutani@toptour.co.jp【URL】<http://www.jpna.jp/images/h23-hyogo-information.pdf>

第8回日本司法精神医学会大会

【テーマ】司法精神医学が拓くこれからの精神科医療【日時】6月8日（金）～9日（土）【会場】金沢市文化ホール【会長講演】「医療観察法における通院医療」松原三郎（松原病院）【特別講演】「米国ニューヨーク州における司法精神医療」Dr. Lloyd Sederer（同時通訳あり）【シンポジウム】I「薬物乱用・依存者の再乱用防止と地域支援をめぐる」松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター）・小林桜児（国立精神・神経医療研究センター病院）・中村恵（茨城県立こころの医療センター）・増茂尚志（栃木県精神保健福祉センター）・田島佳代子（法務省保護局観察課）／II「学会認定精神鑑定医制度について」八木深（国立病院機構東尾張病院）・山口成良（松原病院名誉院長）・松原三郎・黒田治（東京都立松沢病院）・

★耳より情報★

第37回日本精神科看護学術集会で、萱間真美先生のランチョンセミナー（無料）開催決定！

6月2日（土）12:30～13:30、日本精神科看護技術協会大会（神戸国際会議場）第2会場で、萱間真美先生によるランチョンセミナーをおこないます。テーマは、「女って大変？ 働く女性看護師はなぜ罪悪感をもっているのか」です。席（320席）がなくなり次第締め切りです。早い者勝ちだよ！ ぜひふるってご参加ください。



『女って大変。』1890円（税込）

萱間真美先生ほか、精神科認定看護師の中田信枝さん、東志乃さんも著者です。

五十嵐慎人（千葉大学社会精神保健教育研究センター）・岡江晃（滋賀県立精神医療センター）／Ⅲ「医療観察法における治療機能の向上」村上優（国立病院機構琉球病院）・村田昌彦（国立病院機構北陸病院）・岡田幸之（国立精神・神経医療研究センター）・平林直次（国立精神・神経医療研究センター）・石井利樹（神奈川県立精神医療センター）・厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課 医療観察法医療体制整備推進室【**刑事精神鑑定ワークショップ**】平林直次・岡田幸之・田口寿子（東京都立松沢病院）・村上優【**治療プログラムワークショップ**】「統合失調症の認知行動療法演習（初級編）」菊池安希子（国立精神・神経医療研究センター）【**市民公開講座**】「犯罪被害者への支援」武山雅志（石川県立看護大学）・小西聖子（武蔵野大学）・堀河昌子（大阪被害者支援アドボカシーセンター）【**申し込み**】下記大会ホームページの登録フォームより5月11日（金）まで【**参加費**】事前：会員8000円、一般10000円、学生4000円、懇親会5000円【**問い合わせ**】〒920-8654 石川県金沢市石引4-3-5 松原病院【**TEL**】076-231-4138【**FAX**】076-231-4110【**E-mail**】8shihou@nextage.com【**URL**】http://8shihou.jp/

第11回日本トラウマティック・ストレス学会

【**テーマ**】グローバル化のなかで地域文化を考える【**日時**】6月9日（土）～10日（日）【**会場**】クローバープラザ（福岡県春日市）

【**招待講演**】1「トラウマ例に対するサイコセラピー」西園昌久（心理社会的精神医学研究所）／2「サイコトラウマトロジーの異文化的側面：一欧州人の視点から」Ulrich Schnyder（チューリヒ大学病院）（同時通訳あり）【**会長講演**】「トラウマ概念の現在」前田正治（久留米大学）【**大会特別企画（座談会）**】「学会10年を振り返って」飛鳥井望（東京都精神医学総合研究所）・金吉晴（国立精神・神経センター精神保健研究所）・小西聖子（武蔵野大学）・加藤寛（兵庫県こころのケアセンター）【**シンポジウム**】1～16【**プレコンgres**】6月8日（金）【**参加費**】事前：正会員および賛助会員8000円、学生会員4000円、非会員10000円。当日：正会員および賛助会員10000円、学生会員5000円、非会員12000円【**申し込み**】大会ホームページより登録【**問い合わせ**】〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-2-1 筑邦銀行ビル5F 日本旅行天神支店九州イベントコンベンションセンター内 運営事務局【**TEL**】092-732-6363（平日10：00～17：00、土・日・祝日休）【**FAX**】092-715-2827【**E-mail**】jstss_11@nta.co.jp【**URL**】https://apollon.nta.co.jp/jstss_11/

第15回 臨床パストラル教育研究センター 全国大会

【**テーマ**】希望をもたらす力～それでも人生にイエスと言う～【**日時**】6月9日（土）～10日（日）【**会場**】かごしま県民交流センター【**特別講演**】「臨床のアート～最後まで人間らしく～」グロネマイ

アーライメル（ゲーセンユストゥス・リービヒ大）【**講演**】Ⅰ「大災害に直面した医師の叫び～医療の限界～」長谷川有史（福島県立医大）・熊谷敦史（長崎大学病院）永井隆記念国際ヒバクシャ医療センター）／Ⅱ「心を支えるターミナルケア」林章敏（聖路加国際病院）【**参加費**】一般：1日5,000円、学生：1日2,500円、5月21日締切。【**申し込み・問い合わせ**】NPO法人 臨床パストラル教育研究センター 南九州ブロック（担当：本田）【**TEL**】099-252-8881【**FAX**】099-252-8890【**E-mail**】mayumi@tenmonkan.co.jp

第48回日本精神保健福祉士協会全国大会・ 第11回日本精神福祉士学会

【**テーマ**】想いをつなごう【**日時**】6月21日（木）～6月23日（土）【**会場**】熊本県立劇場【**問い合わせ**】〒160-0015 新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F【**TEL**】03-5366-3152【**FAX**】03-5366-2993【**URL**】http://www.japsw.or.jp/

SST 経験交流ワークショップ in 北海道

【**テーマ**】生きる力を励ます SST 深く、高く、そして幸せに【**日時**】6月22日（金）～23日（土）【**会場**】北翔大学北方圏学術情報センター PORTO（札幌市中央区）【**会長講演**】「生きる力をいかに支えるか」西園昌久（心理社会的精神医学研究所）【**ワークショップ**】各先着60名。「家族支援にSST」土屋徹（Office 夢風舎）／「もう

小誌では、できるかぎり多くの「生情報」を掲載したいと思っています。
イベントを企画されている方、広報を担当されている方は、
ぜひ小誌編集室までご一報ください。
FAX. 03-5804-0485 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

一度 SST の基本を学ぶ」岩田和彦（大阪府立精神医療センター）／「就労支援 当事者と支援者に役立つ SST」佐藤珠江（埼玉精神神経センター）／「デイケアが活性化する！ SST のノウハウ実践編 ぴあ SST の実践・体験してみませんか」肥田裕久（ひだクリニック）・木村尚美（同）・高橋雅彦（デイケアるえか）・野村彰宏（同）・上森一郎（同）・福田陽一（同）・高橋美久（同）・櫻田なつみ（同）・花島幸子（同）・飯淵綾乃（同）／「レッツ！当事者研究」向谷地生良（北海道医療大学）／「訪問の現場に SST を活かすためのワークショップ」池田耕治（訪問看護ステーション Q-ACT）／「入院・慢性期患者への SST の工夫」河岸光子（吉祥寺病院）／「ペラックの「ステップ・バイ・ステップ方式」を学ぶ」佐藤幸江（東京海上日動メディカルサービス）／「司法領域における SST」「発達障がい・知的障がいのある方への SST」【初級研修】先着 50 名【認定講師研究】先着 20 名【参加費】分科会：会員 6000 円、非会員 8000 円、初級研修：会員 6000 円、非会員 11000 円、認定講師研修：会員のみ 15000 円。懇親会 4000 円【申し込み】大会ホームページのワークショップ申し込みフォームより、あるいは申し込み用紙をダウンロードし下記へ FAX【問い合わせ】〒005-0001 札幌市南区澄川 1 条 3-3-15-105 ネイチャーズ 担当：古川【FAX】01-598-6916【E-mail】大会ホームページ問い合わせフォームより【URL】http://www.jasst.net/

第 18 回日本精神科診療所協会 総会・学術研究会

【日時】6 月 23 日（土）～24 日（日）【会場】北九州国際会議場（北九州市小倉北区）【URL】http://www.japc.or.jp/info.html

日本精神保健看護学会 第 22 回総会・学術集会

【テーマ】根拠に基づく精神看護の実践 患者・家族の体験、先駆的看護実践と研究の統合【日時】6 月 23 日（土）～24 日（日）【会場】市民会館崇城大学ホール（熊本市民会館）【基調講演】「精神障害者の地域生活にむけた根拠に基づく精神看護の実践 患者自身のセルフケアと行動マネジメントに焦点をあてて」Dr. Robin Buccheri・Dr. Louise Traygstad【大会長講演】宇佐美しおり（熊本大学）【理事会企画ワークショップ】「東日本大震災後において、今できること？」【ワークショップ】1）（日本精神保健看護学会・日本専門看護師協議会共催）「高度看護実践家のためのケア・プロトコール II」／2）（指定）（1）「WRAP（元気回復行動プラン）から学びリカバリーとセルフケア」坂本明子（NPO 法人 WRAP 研究会・久留米大学）他／3）（指定）（2）「うつ病のリワークプログラムと地域生活支援」山口律子（日立キャピタル）【シンポジウム】「精神看護における患者・家族の体験及び研究を統合した先駆的看護実践」福岡好重（横浜市立市民病院）・池田学（熊本大学）・宇野木照代（菊陽病院）・中山洋子（福島県立医科大学）【申し込み】大会ホームページより。事前登録 5

月 10 日（木）正午まで【参加費】事前：会員 7000 円、非会員 8000 円。当日：会員 8000 円、非会員 9000 円、学生はいずれも 3000 円【問い合わせ】〒860-0811 熊本市本荘 2-3-27-203 コンベンションサポート九州内学会サポートセンター熊本【TEL】096-373-9188【FAX】096-373-6078【E-mail】japmhn22@higo.co.jp【URL】http://japmhn22.umin.jp/

日本睡眠学会 第 37 回定期学術集会

【テーマ】睡眠研究 新世代への架け橋【日時】6 月 28 日（木）～30 日（土）【会場】パシフィコ横浜（横浜西区）【教育講演】【シンポジウム】【問い合わせ】〒102-0075 東京都千代田区三番町 2 三番町 KS ビル コンベンションリンケージ内 運営事務局【TEL】03-3263-8688【FAX】03-3263-8693【E-mail】jssr37@c-linkage.co.jp【URL】http://www.c-linkage.co.jp/jssr37/

第 12 回 日本外来精神医療学会総会

【テーマ】日本型の精神医療を考える【日時】7 月 7 日（土）～8 日（日）【会場】帝京大学板橋キャンパス（板橋区加賀）【申し込み】事前登録と入金は 5 月 5 日までに、会員種別（会員／非会員／学生・その他）、ファックス番号、メールアドレス、住所、所属、名前、氏名ふりがな、電話番号、振込日を書いて、大会事務局 044-844-3313 へ FAX【参加費】事前：会

員 6000 円、非会員 7000 円、学生・その他 3000 円。当日：会員 7000 円、非会員 8000 円、学生・その他 4000 円。学生は当日学生証を持参【市民公開講座】7 月 8 日 16：00～「ワークライフバランス 自閉症の子、うつ病の妻を守り抜いて」佐々木常夫（東レ経営研究所名誉顧問）、定員 200 名、参加費無料、往復はがきに住所・氏名・ふりがな・年齢・職業・電話番号・参加人数（1 通 2 名まで。同伴者の氏名とふりがなも明記し、下記の運営事務局公開講座担当へ【問い合わせ】〒113-0033 東京都文京区本郷 2-17-13 広和レジデンス 2F エム・シー・ミュージ内 運営事務局【TEL】03-3812-0383【FAX】03-3812-0376【E-mail】Jaaps@mcmuse.co.jp【URL】http://www.jaaps.jp/12th/index.html

第 19 回産業精神保健学会

【テーマ】あたらしい日本型産業精神保健の幕開け 優しさと業績の両立が可能な社会をめざして【日時】7 月 13 日（金）～14 日（土）【会場】グランキューブ大阪（大阪国際会議場）（大阪市北区）【特別講演】「いまを生きる力」五木寛之（作家・評論家）【基調講演】「落ち込んででも跳ね返す生き方と指導力 個人・集団、組織・地域を元気にするために」金井壽宏（神戸大学）【招待講演】「いない人は一人もいない 一流メジャーリーガーが大切にしていること」タック川本（ビジネス&スポーツアナリスト）【シンポジウム】【教育講演】【申し込み】事前登録は 5 月 31 日（木）までに下記ホームページより【参加費】事前：会

員 6000 円、非会員 7000 円、懇親会 3000 円。当日：会員 7000 円、非会員 8000 円。懇親会 4000 円【問い合わせ】〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 本町クロスビル 11 階 JTB 西日本コミュニケーション事業推進室 MICE センター【TEL】06-6252-2861【FAX】06-6252-2862【E-mail】jsomh19@west.jtb.jp【URL】http://www.jsomh19.com/index.html

日本老年看護学会 第 17 回学術集会

【テーマ】当事者学としての老年看護学の追究 高齢期を生きる人との交流【日時】7 月 14 日（土）～15 日（日）【会場】金沢歌劇座、金沢 21 世紀美術館【会長講演】「“当事者学”に触れて見直す老年看護学（仮）」石垣和子（石川県立看護大学）【特別講演】「当事者学としての市民科学 これからの看護との関係」古在豊樹（千葉大学名誉教授）【教育講演】①「老年期の入り口に立って老年看護を考える」野口美和子（前沖縄県立看護大学）／②「トランスレーショナルリサーチと老年看護 褥瘡研究を例に」真田弘美（東京大学）【一般公開フォーラム】「認知症の人とともにつくるまちづくり」当事者・家族・当事者在住地域の看護職・永田久美子（認知症介護研究・研修東京センター）【参加費】5 月 31 日（木）までに事前受付＆入金：会員 9000 円、当日：会員 10000 円。非会員はいずれも 11000 円。学生（大学院生除く）・1 日参加（非会員のみ）6000 円（抄録なし）。懇親会 6000 円【申し込み】大会ホームページの事前登

録フォームより【問い合わせ】石川県金沢市松村 7-135-1 金沢舞台 担当：本吉（平日 9：30～17：30）【TEL】076-266-0246【FAX】076-266-0237【URL】http://www.rounen17.jp/index.html

第 6 回 集団認知行動療法基礎研修会

【日時】7 月 15 日（日）【会場】金沢松原病院（石川県金沢市）【講義】1「CBGT とはなにか」北川信樹／2「CBGT プログラムの運営について」酒井佳永／「デモロールプレイング（認知への介入）」長井麻希江／「デモロールプレイング（行動への介入）」太田滋春【参加費】会員 3000 円、非会員 6000 円。当日、テキスト『さあ！やってみよう 集団認知行動療法』（医学映像教育センター、DVD 付き。3990 円）の販売あり。会員は約 20％割引【申し込み】下記ホームページのお知らせの中にあるウェブフォームより【問い合わせ】〒141-8625 東京都品川区東五反田 5-9-22【E-Mail】cbgt.se@gmail.com【URL】http://cbgt.org/

日本交流分析学会 第 37 回学術大会

【テーマ】交流分析を超えて【日時】7 月 15 日（日）～16 日（月・祝）【会場】国際医療研究センター国際医療協力研修センター（新宿区戸山）【特別講演】「動物行動学から見たヒトという生きもの 虫やサル、イルカとの比較から考える」幸島司郎（京都大学野生動物研究センター）【特別講演】「発達障害

者との精神療法をめぐって その特性にどうかかわるか」齊藤万比古（国立国際医療研究センター国府台病院）【シンポジウム】「悲哀・喪について考える（仮）」江花昭一（神奈川大学）・重宗祥子（さちクリニック）・金丸隆太（茨城大学）・島田凉子（人間総合科学大学）・杉田峰康（日本交流分析学会）【交流分析講習会】（定員100名）[基礎講座] ①「概論と自我状態、エゴグラム」石川浩二（三菱重工）／②「交流パターンとゲーム」芦原睦（中部労災病院）／③「禁止令・幼児決断・脚本」中村延江（桜美林大学）[領域別グループ学習] ①医療・②産業・③教育[全体討論]【参加費】事前：会員7000円、非会員9000円。当日：会員8000円、非会員：10000円、学生はいずれも5000円。講習会（事前のみ）会員8000円、非会員10000円、学生5000円。懇親会：事前3000円、当日4000円。【申し込み】事前登録は6月14日、入金は6月15日まで。大会ホームページにある参加登録画面より【問い合わせ】〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1 国立国際医療研究センター国府台病院心療内科内大会事務局【FAX】047-372-1858【E-mail】jsta2012@gmail.com【URL】http://jsta2012.umin.jp/index.html

日本ヒューマン・ケア心理学会 学術集会第14回大会

【テーマ】ケアする人のケアを考える【日時】7月15日（日）～16日（月・祝）【会場】筑波大学

東京キャンパス文京校舎【大会準備委員会企画シンポジウム】「ケアの相補性 人が支援し、支援される構造」小玉正博（筑波大学）・伊藤尚子（国際医療福祉大学）・志賀令明（福島県立医科大学）・高田薫（元航空会社勤務）・松井豊（筑波大学）【研修会】（定員60名）「認知行動療法 実践の最先端」堀越勝（国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター）【大会講演】（定員200名）「ケアと生命と意味の発見」柳田邦男（ノンフィクション作家）【参加費】前納：会員5000円、院生3000円。当日：会員5500円、院生3500円。非会員いずれも5500円。研修会は別途3000円。大会講演のみ2000円【申し込み】下記ホームページの申込書に必要事項を記入後、E-mailに添付して下記アドレスに送信。または、申込書をプリントし下記FAX番号へ【問い合わせ】〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学東京キャンパス 筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻小玉研究室気付【TEL & FAX】03-3942-6852【E-mail】jhc14@human.tsukuba.ac.jp【URL】http://jhc2012tsukuba.jimdo.com/

第43回日本看護学会学術集会

[精神看護]

【日時】7月19日（木）～20日（金）【会場】佐賀市文化会館【定員】900名【対象領域】精神看護全般：精神障害者と家族への看護、リエゾン精神看護、地域精神看護、司法精神看護、看護職のメ

ンタルヘルス、自殺予防、自殺遺児、DV、精神領域の医療事故、倫理的課題など【申し込み】下記ホームページの参加申し込みフォームより。受付期間4月30日（月）～6月28日（木）【参加費】事前：会員8000円、非会員12000円、学生4000円。当日：会員12000円、非会員16000円、学生5000円【問い合わせ】〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3 日本看護協会 看護研修学校 管理部教務係学会担当【TEL】042-492-7211【FAX】042-492-7213【URL】http://www.nurse.or.jp/nursing/education/gakkai/index.html

第9回日本うつ病学会総会

【テーマ】今こそ問う、うつ病のパースペクティブ【日時】7月27日（金）～28日（土）【会場】京王プラザホテル（新宿区西新宿）【参加費】会員：医師6000円、コメディカル・学生（学部・大学院生）4000円、臨時会員：医師8000円、コメディカル・学生（学部・大学院生）6000円。学生は学生証を提示。懇親会6000円【臨時会員申し込み】事前登録は大会ホームページの申し込みフォームより。臨時会員資格の要件あり。6月15日（金）正午まで【問い合わせ】〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビルコンベンション リンケージ内事務局【TEL】03-3263-8688【FAX】03-3263-8693【E-mail】jsmd9@c-linkage.co.jp【URL】http://www.c-linkage.co.jp/jsmd9/index.html